

## 協議事項

- ・ 総合的な整備目標・見込み量の前提となる将来の医療需要について、在宅での対応を目指す部分と、介護サービスでの対応を目指す部分との調整
- ・ 将来の医療需要に対応するサービスごとの整備目標・見込み量について、地域の実情を踏まえ、市町と県での役割分担の調整
- ・ 保健医療計画における在宅医療の整備目標の達成状況と高齢者支援計画における介護サービスの見込み量の共有

## 協議体制

### 協議の場

地域医療構想調整会議(主催 各センター)

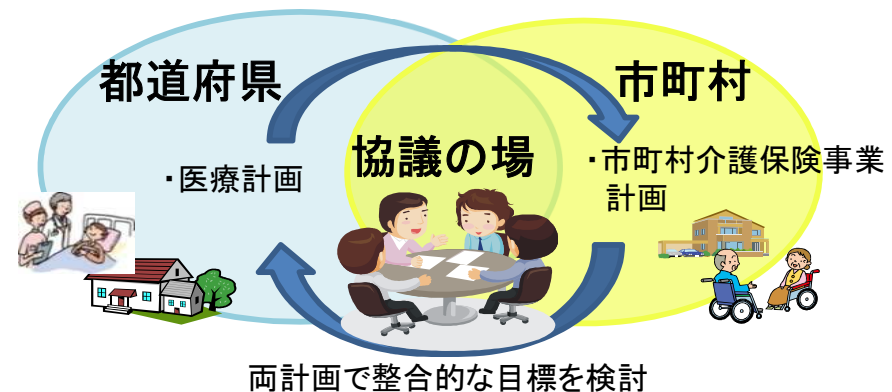
- ・ 郡市医師会
- ・ 看護協会地区支部
- ・ 医療機関
- ・ 老人福祉施設団体
- ・ 老人保健施設団体
- ・ 介護関係団体(ケアマネジャー協会等)
- ・ 市町

等

+

- ・ 介護療養病床を有する病院、診療所  
+ 必要に応じて、医療療養病床を有する病院、診療所のうち介護医療院に転換意向のある病院、診療所

※市町(医療計画担当部課長及び介護保険事業計画担当部課長が両方出席)  
→ 調整会議にいない場合は追加



### 主催

医療政策課及び高齢対策課

### 開催

2次保健医療圏ごとに開催

R3(2021)年度: 書面開催

### 議題

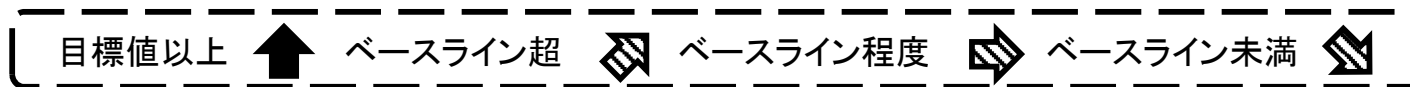
- ・ 在宅医療の整備目標の達成状況(スライド2参照)及び介護サービスの見込み量の共有(スライド3参照)
- ・ 医療・介護関係者からの意見や質疑等も別途書面で共有(スライド4参照)

# 県保健医療計画(7期計画後半)における目標項目の進捗

	目標項目	ベースライン	実績値	ベースラインとの差	目標値(2023年)		進捗
					目標値	目標達成度(*)	
1	訪問診療を実施する診療所、病院数 (単位:施設)	277 (2018年)	274 (2019年)	▲3	280	98%	医療機関数が3施設減少した。
2	訪問看護ステーションに勤務する看護師数(常勤換算) (単位:65歳以上人口10万人対)	108 (2019年)	126 (2020年)	18	124	102%	65歳以上人口10万人当たりの看護師数が18人増加した。
3	訪問歯科診療を実施する診療所数 (単位:施設)	227 (2018年)	240 (2019年)	13	287	84%	診療所数が13施設増加した。
4	訪問薬剤指導を実施する薬局数 (単位:施設)	240 (2020年)	265 (2021年)	25	288	92%	薬局数が25施設増加した。
5	在宅ターミナルケアを受けた患者数 (単位:人/月)	122 (2018年)	109 (2019年)	▲13	185	59%	患者数が13人/月減少した。
6	介護支援連携指導を受けた患者数 (単位:人/月)	609 (2018年)	598 (2019年)	▲11	873	68%	患者数が11人/月減少した。

進捗欄には、ベースライン及び目標値と比較した直近値の状況を表示している。

\* 目標達成度(%) = 実績値 / 目標値



## 【出典】

1、3、5、6: 厚生労働省「NDBデータ(2019年度)」

2: 栃木県「訪問看護ステーション基礎調査(2020年4月時点)」、総務省「2020年国勢調査」

4: 関東信越厚生局「施設基準の届出受理状況(2021年10月時点)」

# 県高齢者支援計画はつらっプラン21(八期計画)における介護サービスの見込み量

(単位:人)

	サービス区分	七期計画			八期計画			
		実績値	見込量 (計画値)	対計画比 (%)	見込量 (計画値)	見込量 (計画値)	見込量 (計画値)	対七期計画比 (%)
		2020年	2020年		2021年	2022年	2023年	
1	介護老人福祉施設	7,862	8,200	95.9	8,159	8,367	8,588	104.7
2	介護老人保健施設	5,487	5,780	94.9	5,815	5,884	5,964	103.2
3	地域密着型 介護老人福祉施設	2,181	2,341	93.2	2,280	2,315	2,383	101.8
4	介護医療院	99	—	—	291	358	627	—
5	訪問介護	9,997	10,723	93.2	10,294	10,543	10,797	100.7
6	訪問看護	6,151	5,454	113.2	6,478	6,669	6,837	125.4
7	通所介護	18,474	20,855	88.6	19,311	19,739	20,133	96.5
8	地域密着型 通所介護	4,968	6,000	82.8	5,291	5,429	5,574	92.9

【出典】栃木県高齢者支援計画「はつらっプラン21」  
厚生労働省「介護保険事業状況報告」より県算出

# 関係者からの意見及び御意見を伺いたいこと

## 関係者からの意見

### ○在宅医療・介護の連携における地域の課題等

- 在宅医療の受け皿は一部減少が見られるが、在宅医が見つからない等の不足感はない。
- 今後は在宅医の高齢化が見込まれることから、人材確保が課題である。
- 24時間対応可能な体制整備には、情報共有ツールの活用促進による多職種連携の強化が必要である。
- コロナ禍においては、医療・介護従事者の会議等が制限されており、顔の見える関係の構築が困難になった。

### ○医療・介護の連携の推進に向けた取組

- 多職種による会議や症例検討、研修等を通じて、顔の見える関係の構築を図っている。
- 訪問歯科診療の普及に向けて、地域の中でアンケート調査を実施し、分析している。
- 訪問リハビリテーションの提供により、在宅療養患者のADL向上に努めている。
- 埼玉県の事件を受け、在宅医療・介護従事者の安全について、人材確保の観点から議論した方がよい。

## 御意見を伺いたいこと

- 上記のほかに、医療・介護の連携における課題や御意見等がありますか。